

授業科目	顎顔面補綴治療学(咬合・有床義歯補綴学)		
区分・単位	講義・演習・実習 9単位	関連分野等	
年次・期別	1年次～2年次	曜日・時限	月曜日～金曜日
教室	保存科・補綴科診療室,咬合・口腔機能再建学分野 研究室	担当者電話番号	086-235-6685 (皆木省吾)
担当教員	【研究科】教授:皆木省吾, 准教授:原 哲也, 助教:岡 森彦, 沖 和広, 兒玉直紀 【病院】講師:西川悟郎, 丸尾幸憲		
一般目標	顎顔面補綴治療についての専門的ならびに特殊的な手技を体得する。		
到達目標	顎顔面欠損患者に対する補綴治療を行うことができる。 腫瘍摘出後の患者の QOL 向上に寄与でき, 正しく評価することができる。		
講義概要	<p>1)顎顔面補綴治療学講義:担当教員</p> <p>顎顔面領域の悪性腫瘍の摘出手術や外傷などによって顎欠損を生じた患者の欠損部の再建法のオプションとしては主として, 旧来より外科的な再建手術, あるいは顎義歯の装着がある。また, 近年では眼球や耳介を含めた顔面領域の欠損を対象とした修復処置を, インプラントを併用した顎義歯によって治療されるようになってきた。また, 顎顔面領域の悪性腫瘍を持つ患者に対する治療オプションの提示に際しては, 手術後の生存率だけでなく, 術後における QOL が重要視されるようになってきており, このような観点からも腫瘍摘出後の治療オプションとしての顎顔面補綴は極めて重要である。講義ではこれらの内容について学習する。</p> <p>2)患者治療(臨床実習):西川, 丸尾, 岡</p> <p>顎顔面補綴治療による機能回復は様々な原因により困難な場合が多い。患者の治療を通じて, 選択した治療の妥当性, 患者の QOL 向上のための解決策などに関する議論を展開し, 論理的思考と議論展開の基礎を学ぶ。</p> <p>3)症例検討会(演習):全担当教員</p> <p>症例検討会に参加し, 各自の治療内容を報告するとともに, 他者の発表について議論を展開する。</p>		
テキスト・参考書等	特に指定はしない		
成績評価基準 成績評価方法	出席およびレポートなどにより評価する		
研究活動との関連	顎顔面補綴治療に関する研究ならびに腫瘍摘出後の患者 QOL に関して研究を行っており, これらの研究結果についても詳細な講義を行っていく。		

基礎実習	相互実習：心電図検査、肺機能検査、動脈・静脈血採血など 血液型判定、交差適合試験、輸液・輸血回路の組み立てなど
臨床実習	指導医のもとで診療介助 10 症例を行う。その後 3 症例の実習を行う。
症例検討会	症例検討会は、毎月第二水曜日に行う。
講義日程	<p>下記のセミナーを開催する。日程等は事前に大学院生に通知する。</p> <p>第 1 回 顎顔面補綴総論 (皆木省吾教授) 第 2 回 高齢者の全身疾患、口腔粘膜疾患 (岡 森彦先生) 第 3 回 口腔・顎・顔面インプラント手術 (兒玉直紀先生) 第 4 回 有床義歯の機能 (原 哲也先生) 第 5 回 顎骨欠損患者の補綴治療 (沖 和弘先生) 第 6 回 顎顔面補綴の維持装置 (西川悟郎先生) 第 7 回 顎顔面補綴とインプラント (丸尾幸憲先生) 第 8 回 顔面補綴の実際 (西川悟郎先生)</p>
本年度参加が望ましい学会等	<p>第118回日本補綴歯科学会学術大会 日時：平成21年6月5(金)～7日(日)，会場：国立京都国際会館</p> <p>第26回日本顎顔面補綴学会学術大会 日時：平成21年6月26(金)～27日(土)， 会場：三重北勢地域地場産業振興センター"じばさん三重" (三重県四日市市)</p>